

＜社会で発揮できる確実なスキルを身に付ける＞

＜当然のこと＞

「家で出来る」「指示や手順表があると出来る」のは正直当然です。どちらかといえば、「家ではやらず、外では出来る」方が有力です。また、「やれる」「知っている」は本当のスキルにはなっていません。やっぱり、「質」です！ お家での「お手伝い」は当然の経験です。ただ「やってる」「やる」「やれる」のレベルではありませんか？

実習先や就労先に、保護者が常に付き添い、「家では出来るんです！」
「いつもは出来るんですけど…。」
「出来る日と出来ない日があつて…」
「人と見るところがあつて…」等、伝える事は出来ますが、評価は…どうでしょうか。

就労先や就職先は、丁寧に教えてくれて、優しいです。子供たちの手抜きと楽な方法を知る力は、なかなかです！ 大目に見てもらったり、出来ない、やらなくても許してもらえるようになると…。スキル(能力)が落ちてしまう可能性もありますし、当然ですよ。

＜評価を出すのは、実習先(事業所)です！＞

実習先で判断と評価を出すは、「本人たちをよく知らない実習先の方です！」 実習で、緊張して本当の力が発揮できなかったは仕方がなく、誰しもあることなので分らなくもありませんが、ただ…「評価は評価」です。「社会(家・学校以外)で、発揮できる確実なスキル」を身に付けなければ、意味を持たなくなります。

第一段階として学校の担任及び各担当の先生に、本当のスキル(能力)をしっかりと、分かってもらえていますか？
先生にしっかりとスキル(能力)の理解を得ていないと、そもそも希望の実習先にさえ、たどり着くことも出来ない場合が実際にあります。

出来るならば、「正しく正確に」、「質は高く」、「状況などを問わず出来る」スキル(能力)が必要です。

思い込み その①

保護者→苦手 / 出来ないと思っている
実 際→苦手克服、出来るようになっている

思い込み その②

保護者→得意 / 出来ると思っている
実 際→家だけであつたり、様々な特別な指示がないと出来ない。
本来の意味の理解が出来ていなくその場のぎ 等

「そもそも苦手等が多い子たちなのに、なぜそんなことまで求めるんだ！」と言いたいですが、現実です。就労先や就職先を見定めるのは、保護者の方ですが、保護者の方の希望と、本人のスキルが合っているとは限らないのです。だから！いかに選択肢を増やしていくかです！ 小5を過ぎたらのんびり成長を見ていられないのも現実なのです！

その18

今日の活動ポイント！

＜正しく理解し、認識出来ているかチェック＞

文字指示、言葉指示(全体と個人)がどこまで、認識できているか。正しく理解をし、行動しているのかをチェックしました。特性と性格は勿論考慮です。

- 「チェック方法」。様々な状況かつ、様々な指示に対して、どう判断しどう行動しているかを個別でチェックしました。
- 「結論」。全体的にニュアンスや今までの流れ、周りを見ての(勝手な)判断というのが殆どです。
- 「手立て」。修正が可能であり、本人の特性や性格より出来る限りの事を行って行きます。具体的には、個別の内容になります。短時間方法もしくは長期間方法の見極めをして行きます。

家(自分のテリトリー内)では、保護者が「見えない(見えていない) 苦手」は思っている以上に多いです！家で、あれもこれも出来るから安心は全くできません。例えば、挨拶。「お願いします」「貸してください」「～はどこにありますか?」「何をしたらいいですか?」という事は家では使わないけれど、社会では当然のように使います。勿論、逆(見えていない出来る事)もあります。

スイッチでは出来る限り、どこでも変わらず発揮できるスキル(能力)の向上を目標としています☆